



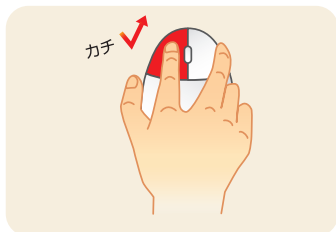
パソコンの基本操作

- ✓ 本書の解説は、基本的にマウスを使って操作することを前提としています。
- ✓ お使いのパソコンのタッチパッド、タッチ対応モニターを使って操作する場合は、各操作を次のように読み替えてください。

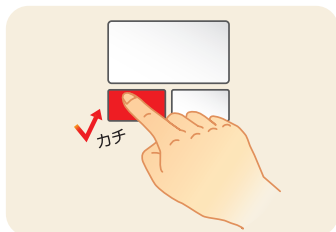
1 マウス操作

● クリック（左クリック）

クリック（左クリック）の操作は、画面上にある要素やメニューの項目を選択したり、ボタンを押したりする際に使います。



マウスの左ボタンを1回押します。



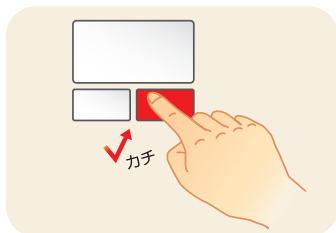
タッチパッドの左ボタン（機種によっては左下の領域）を1回押します。

● 右クリック

右クリックの操作は、操作対象に関する特別なメニューを表示する場合などに使います。



マウスの右ボタンを1回押します。



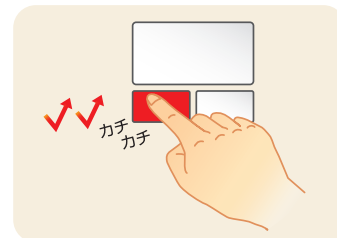
タッチパッドの右ボタン（機種によっては右下の領域）を1回押します。

● ダブルクリック

ダブルクリックの操作は、各種アプリを起動したり、ファイルやフォルダーなどを開く際に使います。



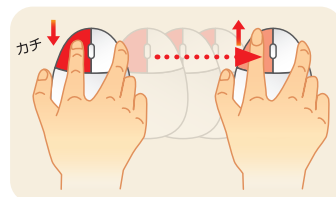
マウスの左ボタンをすばやく2回押します。



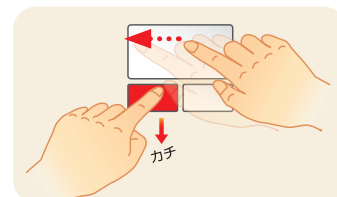
タッチパッドの左ボタン（機種によっては左下の領域）をすばやく2回押します。

● ドラッグ

ドラッグの操作は、画面上の操作対象を別の場所に移動したり、操作対象のサイズを変更する際に使います。



マウスの左ボタンを押したまま、マウスを動かします。目的の操作が完了したら、左ボタンから指を離します。

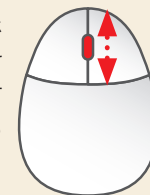


タッチパッドの左ボタン（機種によっては左下の領域）を押したまま、タッチパッドを指でなぞります。目的の操作が完了したら、左ボタンから指を離します。



ホイールの使い方

ほとんどのマウスには、左ボタンと右ボタンの間にホイールが付いています。ホイールを上下に回転させると、Web ページなどの画面を上下にスクロールすることができます。そのほかにも、**[Ctrl]**を押しながらホイールを回転させると、画面を拡大/縮小したり、フォルダーのアイコンの大きさを変えたりできます。





Contents

Chapter

1

関数の基礎を知ろう

Section 1	関数とは	18
Section 2	関数の書式を知ろう	20
Section 3	数式と値の違いを知ろう	22
Section 4	関数を入力しよう	24
Section 5	セルの値で計算しよう	28
Section 6	関数を修正しよう	30
Section 7	相対参照と絶対参照、 複合参照を使い分けよう	34

Chapter

2

関数のルールに 詳しくなろう

Section 8	関数をコピーしよう	40
Section 9	オートフィルでまとめてコピーしよう	42
Section 10	セルの表示形式を設定しよう	46
Section 11	関数を組み合わせよう	50
Section 12	セル範囲に名前を付けよう	54

Chapter

3

関数で 基本の計算をしよう

Section 13	SUM関数で合計を求めよう	58
------------	---------------	----

Section 14	MAX/MIN関数で 最大/最小を求めよう	62
Section 15	ROUND関数で四捨五入しよう	64
Section 16	AVERAGE関数で平均を求めよう	66
Section 17	PRODUCT関数で積を求めよう	68
Section 18	MOD関数で商の余りを求めよう	70
Section 19	COUNTA関数でデータの 個数を求めよう	72

Chapter

4

関数で
日付と時間を扱おう

Section 20	TODAY関数で日付を入力しよう	76
Section 21	YEAR/MONTH/DAY関数で 日付から値を取り出そう	78

Section 22	HOUR/MINUTE/SECOND関数で 時刻から値を取り出そう	80
Section 23	WORKDAY関数で 営業日を計算しよう	82
Section 24	NETWORKDAYS関数で 土日祝日を除いた日数を求めよう	84
Section 25	WEEKDAY関数で 曜日を判別しよう	86
Section 26	DATEDIF関数で 期間を計算しよう	88
Section 27	EDATE関数で 日付での計算をしよう	90

Chapter

5

関数で
文字列を扱おう

Section 28	ASC/JIS関数で文字列の 半角/全角を統一しよう	94
Section 29	CONCAT/CONCATENATE関数で 文字列を結合しよう	96

Section 30	INDEX関数でデータを探そう	98
Section 31	MATCH関数で データの位置を求めよう	100
Section 32	OFFSET関数で 検索した行を表示しよう	102
Section 33	FIND関数で 文字列の位置を求めよう	104
Section 34	LEN/LENB関数で 桁数を数えよう	106
Section 35	TEXTSPLIT関数で 文字列を分割しよう	108

Chapter

6

関数で
順位付けしよう

Section 36	RANK.EQ関数で順位を求めよう	114
Section 37	LARGE/SMALL関数で 指定した順位の値を求めよう	116

Section 38	MEDIAN関数で中央値を求めよう	118
Section 39	COLUMN/ROW関数で 連番を表示しよう	120
Section 40	ISBLANK関数で セルが空白か調べよう	122
Section 41	SORT関数で並べ替えよう	124
Section 42	UNIQUE関数で要素を取り出そう	126

Chapter

7

関数で
条件を設定しよう

Section 43	IF関数で処理を場合分けしよう	130
Section 44	IFS関数で複数の条件を利用しよう	134
Section 45	AND/OR/NOT関数で 細かく条件を指定しよう	138

Section 46	ISERROR関数で エラーの有無を判定しよう	142
Section 47	IFERROR関数で エラーの処理を行おう	144
Section 48	SUMIF／COUNTIF関数で 条件を満たすデータを数えよう	148
Section 49	MAXIFS／MINIFS関数で条件を満たす データの最大値／最小値を求めよう	150
Section 50	SUBTOTAL関数で 条件ごとに計算しよう	152

Chapter

8

VLOOKUP関数を使ってみよう

Section 51	VLOOKUP関数とは	156
Section 52	VLOOKUP関数で 値を取り出そう	158
Section 53	テーブルから検索しよう	162

Section 54	別のシートの表を利用しよう	166
Section 55	XLOOKUP関数で 範囲から値を取り出そう	170

Appendix

関数をもっと
使いこなそう

Appendix 01	関数をもっと使いこなそう	176
Appendix 02	スピル機能について知ろう	180
Appendix 03	エラーが表示されたら	184
Appendix 04	無視したエラーを再表示しよう	185
Appendix 05	エラー値の意味と解決法を 理解しよう	186

索引	190
----	-----

セルの値で計算しよう

1 数式で四則演算ができる

セルに入力した値をもとに、数式を使って足し算、引き算、掛け算、割り算の四則演算を行えます。計算する場合は、セルまたは数式バーで先頭に「=」（イコール）を付け、半角の演算子記号を利用します。

$$=(A3-(B3+B4))*A1$$

②: A3-①
①: B3+B4
③: ②×A1

数値を入力して
利用することも
できます



Hint

計算される優先度を確認

数式内で計算を行う場合、優先度の高い演算子から計算されます。また、「()」（カッコ）を利用した場合は「()」内の計算が優先されます（「()」内に「()」がある場合はそちらが最優先となります）。

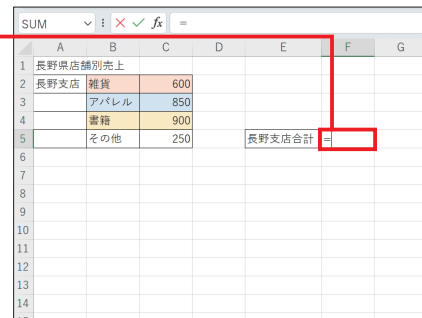
優先度	種類	記号
1	パーセンテージ	「%」（パーセント）
2	累乗	「^」（キャレット）
3	掛け算	「*」（アスタリスク）
	割り算	「/」（スラッシュ）
4	足し算	「+」（プラス）
	引き算	「-」（マイナス）

複数の「()」が入る場合でもすべて「()」を利用します

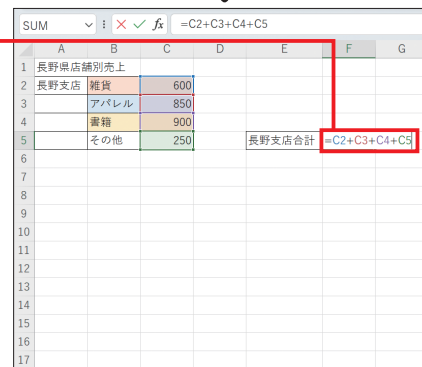


2 セルに計算式を直接入力する

1 計算を行いたいセルを選択して「=」を入力し、



2 引数となるセルと演算子記号を利用して計算式を入力し、「Enter」を押すと、

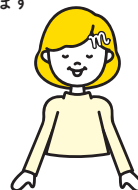
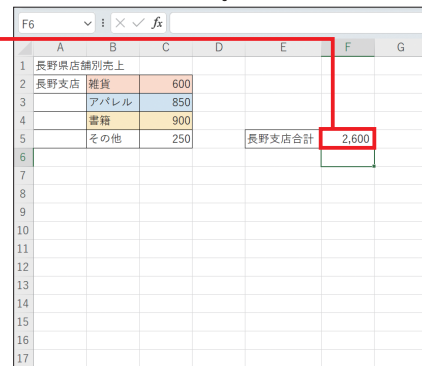


セルは直接入力ではなく、該当セルをクリックすることも入力できます



3 セルに戻り値が表示されます。

セルではなく、数式バーに計算式を入力しても計算されます



3 絶対参照とは

「絶対参照」は、セルの行と列を固定して参照する方式です。参照するセルは列と行の前に「\$」が挿入され「\$A\$1」「\$B\$35」のようになり、「=E2/\$E\$5」といった数式になります。

なお、関数を入力するとき、最後の「Enter」を押す前に「\$」を挿入したいセルにカーソルを合わせて「F4」を押すことで、「\$」が挿入されます。

関数の入力時に「\$」を挿入したい引数にカーソルを合わせ、「F4」を押すと、「\$」が挿入されます。

	B	C	D	E	F	G
1	4月	5月	6月	4-6月計	構成比	
2	240	250	180	670	=E2/\$E\$5	
3	400	340	200	940		
4	100	190	130	420		
5	740	780	510	2,030		
6						
7						

「F4」を押さずに、「\$」を直接入力してもOKです



絶対参照を使った数式が入力されているセルをコピーし、ほかのセルに貼り付けると、参照セルは固定されているので、参照が意図していないセルに自動調整でずれることはありません。

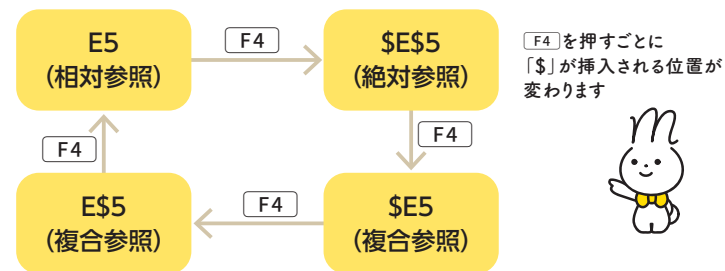
「=E2/\$E\$5」と絶対参照の数式が入力されたF2セルをコピーし、その下のF3セルに貼り付けると……

	B	C	D	E	F	G
1	4月	5月	6月	4-6月計	構成比	
2	240	250	180	670	33.005%	
3	400	340	200	940	46.305%	
4	100	190	130	420		
5	740	780	510	2,030		

「=E3/\$E\$5」という計算式が貼り付けられ、「\$」を付けたセルの参照がずれることなく求めていた通りの計算が行われた

4 複合参照とは

「複合参照」は、行だけ、または列だけを固定して参照する方式です。列だけを固定して参照する場合は、セルの列の前に「\$」を挿入して「\$E5」のようにし、「=E3/\$E5」といった数式にします。行だけを固定して参照する場合は、行の前に「\$」を挿入して「\$E5」のようにし、「=\$E3/E5」といった数式にします。なお、関数を入力するとき、最後の「Enter」を押す前に「\$」を挿入したいセルにカーソルを合わせて「F4」を2回、または3回押すことで、行、または列を固定する「\$」が挿入されます。



複合参照を使った数式をうまく利用すれば、関数の入力を簡易化できます。行のみを固定すればよい場合には、絶対参照ではなく複合参照を設定するなど使い分けることができます。

「=E2/E\$5」と行だけを固定した複合参照の数式が入力されたF2セルをコピーし、その下のF3セルに貼り付けると……

	B	C	D	E	F	G
1	4月	5月	6月	4-6月計	構成比	
2	240	250	180	670	33.005%	
3	400	340	200	940	46.305%	
4	100	190	130	420		
5	740	780	510	2,030		

行を固定した「=E3/E\$5」という計算式が貼り付けられ、セルの参照がずれることなく求めていた通りの計算が行われた

ROUND関数で 四捨五入しよう

書式

=ROUND(数値,桁数)

指定した桁で数値を四捨五入する

数値を四捨五入する関数です。引数の**数値**には対象とする数値を、**桁数**には小数第何位を基準とするかをそれぞれ指定します。このとき基準とするのは小数点以下に限らずともよく、千の位や百の位を指定することも可能です。

なお、四捨五入ではなく切り上げ／切り捨てを行う関数もあります(Memo参照)。

文字列として設定していると
四捨五入できないので
注意しましょう



引数

数値 四捨五入する数値を指定します。文字列や時間は対象にできないので注意しましょう。

桁数 四捨五入の基準となる桁を数値で指定します。指定する桁は数値によって異なります(下の表参照)。

桁数の指定	対象となる位	桁数の指定	対象となる位
2	小数第3位	-1	10の位
1	小数第2位	-2	100の位
0	小数第1位	-3	1000の位

10%割引後の価格を四捨五入する

=ROUND(E8*0.9,0)

E8セルの値を0.9倍にして**小数第1位**で四捨五入する

E9					
A	B	C	D	E	F
1	幕の内弁当	750	1	750	
2	焼肉弁当	850	3	2550	
3	おにぎりセット	600	2	1200	
4	豚汁	200	4	800	
5	ゴボウサラダ	200	0	0	
6					
7					
8			総額	5300	
9			割引価格	4770	
10					
11					

四捨五入した結果が表示される

E8*0.9 数値の引数には計算結果を指定することもできます。

0 価格の計算では小数第1位を四捨五入するので「0」を入力します。

この関数では引数を
省略できません



切り上げ／切り捨てを行う関数

四捨五入でなく数値の切り上げや切り捨てをしたい場合は以下の関数を利用します。引数の扱いはROUND関数と同様です。

=ROUNDUP(数値, 桁数) 指定した**桁数**で**数値**を切り上げる

=ROUNDDOWN(数値, 桁数) 指定した**桁数**で**数値**を切り捨てる

INDEX関数で
データを探そう

書式

=INDEX(配列,行番号,[列番号])

配列内で指定した行と列が変わるセルを探す

引数に指定したセルの範囲の**配列**内にある、**行と列**が変わるセルの値を探ることができる関数です。「表内の何行目の何番目のデータを取り出したい」というときに利用します。表が大きければ大きいほど便利な関数です。

行と列が何番目かをすばやく調べるには、MATCH関数を使うと便利です
(101ページStepup参照)



引数

- 配列** 探すセルが含まれる表のセル範囲を指定します。
- 行番号** 配列で指定した範囲の中で、取り出したい値の行番号(上から何番目か)を指定します。配列が1行の場合は省略ができますが、その場合は必ず列番号を指定します。
- 列番号** 配列で指定した範囲の中で、取り出したい値の列番号(左から何番目か)を指定します。配列が1列の場合は省略ができますが、その場合は必ず行番号を指定します。

1 行と列を指定してデータを取り出す

=INDEX(B2:D5,3,2)

B2セルからD5セルの配列内で3行目、2列目にあるデータを取り出す

	A	B	C	D	E	F	G
1	事業所名	所長	副所長	本部長			
2	丸の内事業所	山田	島村	宮崎			
3	品川事業所	佐藤	小澤	出島		渋谷事業所副所長:	岸
4	渋谷事業所	高橋	岸	大森			
5	八王子事業所	小田	栗谷	矢口			
6							
7							
8							

指定した行と列が交差するデータが表示される

B2:D5 表見出しは含まず、値が入っているセルのみ指定します。

3 範囲内の上から3行目なので「3」を指定します。

2 範囲内の左から2列目なので「2」を指定します。

ここで紹介したINDEX関数は「配列形式」ですが、このほかに、本書では解説していませんが、指定したセルの参照を求める「参照形式」もあります



Hint

1行 / 1列分のすべてデータを取り出す

表の中にある任意の1行のすべてのデータを取り出したい場合は、行番号を「0」に指定し、1列のすべてデータを取り出したい場合は、列番号を「0」に指定します。

=INDEX(配列,行番号,0) 配列内の**行全体**のデータを取り出す

=INDEX(配列,0,列番号) 配列内の**列全体**のデータを取り出す

IF関数で 処理を場合分けしよう

書式

=IF(論理式,[値が真の場合],[値が偽の場合])

条件により場分けされる値を求める

条件を**論理式**として指定し、条件を満たしたら**値が真の場合**として指定した処理を実行し、条件を満たさなかった場合は**値が偽の場合**として指定した処理を実行する関数です。

引数

論理式

条件を判定する数式を比較演算子(下の表参照)を利用して指定します。

値が真の場合

論理式の条件を満たして「TRUE」になったときに実行する処理を指定します。

値が偽の場合

論理式の条件を満たさず「FALSE」になったときに実行する処理を指定します。

比較演算子	意味	例
=	AとBが等しい	A=B
<>	AとBが異なる	A<>B
>	AがBより大きい	A>B
<	AがBより小さい(未満)	A=	AがB以上	A>=B
<=	AがB以下	A<=B

1 指定した数値を超えているかを判別する

=IF(D3>150000,"達成","")

D3セルの値が150000より大きい場合は「達成」と表示させ、そうでない場合は**何も表示しない**

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	2月入場料成績							
2	日付	大人 来客者数	こども 来客者数	入場料収入	目標達成			
3	2月1日	80	32	185,600	達成			
4	2月2日	67	18	148,400				
5	2月3日	59	13	128,400				
6	2月4日	74	21	164,800	達成			
7	2月5日	89	37	207,600	達成			
8	2月6日	55	9	117,200				
9								

条件を満たしていると「達成」が表示される

D3>150000 「もし○○なら」を数式で指定します。セル範囲で指定し、スピル機能(180ページ参照)で自動表示させることもできます。

“達成”

論理式の条件を満たす場合は、「達成」を表示するよう指定します。

“”

論理式の条件を満たさない場合は、何も表示しないよう指定します。

何も表示しないようにするには、2つ目、または3つ目の引数で「”」と指定します



2つ目、3つ目の引数はどちらかを省略することができます。その場合、条件を満たす場合の戻り値は「0」と表示され、条件を満たしていない場合の戻り値は「FALSE」と表示されます



エラー値の意味と 解決法を理解しよう

1 主なエラー値の意味と解決方法

1 #NAME?

「#NAME?」（ネーム）は、関数の名前を間違えて入力すると表示されます。また、利用しているExcelに対応していない関数を入力することでも表示されます。

数式を修正し、正しい関数名を入力すると、エラーは消えます。

1 関数名が間違っているため、「#NAME?」が表示されています。

プロジェクト参加者		部署別人数	
氏名	部署名	部署名	人数
池田 彩子	営業部	営業部	#NAME?
武藤 健太郎	事業本部		
緒方 まどか	営業部		
知野 美紀	広報部		
佐保田 圭一	事業本部		
神田 大介	総務部		

2 数式内の関数名を修正すると、エラーが消えます。



エラー「#####」の意味と解決法

列の幅が狭く、値がすべて表示できないときに「#####」が表示されます。TODAY 関数（76 ページ参照）など、日付を表示させるときに出ることがあります。

このエラーが表示されたら、列幅を広くすると、エラーが消えます。

請求書			
発行日	株式会社技術商事		
#####			
中			
上げます。			
¥110,000	(税込)		

2 #DIV/0!

「#DIV/0!」（ディバイド・パー・ゼロ）は、**割り算の割る数に0や空白セルを指定**すると表示されるエラー値です。たとえばMOD関数（70ページ参照）の引数に0が入力されているセルが指定されている場合などに表示されます。参照セルの入力値を1以上にして割り算をできるように修正すると、エラーは消えます。

1 割り算の割る数に0が指定されているため、「#DIV/0!」が表示されています。

品名	必要数	1ケース本数	不足
烏龍茶	220	0	#DIV/0!
お水	200	10	0
ビール	250	6	4
サワー	210	6	0

2 C4セルの値を1以上にすると、エラーが消えます。

3 #REF!

「#REF!」（リファレンス）は、数式で参照先の**セルが存在しない場合**に表示されるエラー値です。参照していた列を削除してしまったときや、INDEX関数（98ページ参照）やVLOOKUP関数（156ページ参照）で指定する列番号が範囲と合わなかったときなどに表示されます。また、「#REF!」が表示されているセルを参照することでも、「#REF!」は出てしまいます。

数式を修正し、参照元を正しく指定すると、エラーは消えます。

1 INDEX関数で列番号が範囲外のため、「#REF!」が表示されています。

事業所名	所長	副所長	本部長
丸の内事業所	山田	島村	宮崎
池田事業所	佐藤	小澤	田中
渋谷事業所	高橋	岸	大森
八王子事業所	小田	栗谷	矢口

2 数式内の列番号を範囲内に修正すると、エラーが消えます。